

青梅市文化財ニュース

第 3 1 6 号

平成 2 6 年 2 月 1 5 日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土博物館（青梅市駒木町 1-684 TEL0428-23-6859）

青梅市郷土博物館企画展「戦国時代の青梅」

平成 26 年 1 月 11 日から青梅市郷土博物館に於いて「戦国時代の青梅」と題する企画展が開催されています。青梅の戦国時代はどのような様子だったのでしょうか？。展示品や古文書からその一端を御紹介します。

戦国時代の青梅とその周辺地域（羽村・奥多摩を含む）は平将門の末裔と自称する三田一族が支配していました。杣保そまのほと言われていたこの地方は豊かな山林資源を持ち、三田氏はそれを元に次第に武蔵国の有力な国衆（国人領主）となっていました。

この地域で三田という人物は応永 25（1418）年、初めて資料に現れます。16 世紀初めになると三田氏宗うじむねという人物が登場し、勝沼を拠点として青梅周辺を治め、武蔵御嶽神社などの寺社の造営修理なども行いました。企画展に展示されている「上杉顕定書状」からは、当時関東管領を務め関東を代表する勢力であった山内上杉氏からも厚く信頼されていたことがわかります。

氏宗の嫡男・三田政定まさただは市内天寧寺に銅鐘を寄進し、塩船観音寺仁王像の修理を行っています。また、氏宗・政定父子は連歌を嗜み、当時一流の文化人であった連歌師宗長と深い親交がありました。

市内乗願寺には政定の嫡男である三田綱秀つなひでが使用したと云われる「兜前立」と「軍旗」が伝わっています。「兜前立」は高さ 9.5cm、幅 14cm の金銅製で、扇の形をしています。後部には兜に装着するための金具がついています。「軍旗」は縦 102cm、横 71cm の絹地で、上部が欠損していますが三田氏が戦中使用した扇紋と三つ巴紋が染め抜いてあります。いずれも青梅市指定有形文化財で、今回展示されています。

三田氏は 1520 年代頃から伊勢宗瑞（北条早雲）を祖とする小田原北条氏の影響下に入りましたが、永禄 3～4（1560～1561）年に長尾景虎（上杉謙信）が関東へ出兵してきた際に北条氏から離反したため滅ぼされてしまいます。

市内二俣尾からかいの辛垣城に籠った最後の当主・綱秀は落城後、一説によれば岩付城（埼玉県さいたま市）に逃れ自害したといわれています。企画展には三田氏と北条氏の合戦の一端に触れた資料も展示されています。



三田氏軍旗（乗願寺所蔵）

綱秀の死より約 60 年後の寛永 4（1627）年、三田氏の家臣であつた野口秀房^{ひでふさ}は三田氏累代の位牌を 3 基作り、三田氏菩提寺の海禅寺、ゆかりの寺院である金剛寺、天寧寺に納めました。「三田氏位牌」は金剛寺、天寧寺の 2 基が今回展示されており、漆塗りの大きな位牌に書かれている文言から、主君を悼む家臣の深い気持ちを窺い知ることができます。（海禅寺の位牌は昭和 59 年、火災により焼失）

三田氏滅亡後、三田氏の家臣達は北条氏の一族である北条氏照に従い、北条氏の命で関東各地へ出陣しました。しかし、関東一の勢力として君臨した北条氏も北条氏直の代に豊臣秀吉の攻撃を受け滅亡してしまいます。

三田氏は滅亡しましたが、江戸時代に入り、三田氏の領地であつた地域は三田領、または三田谷と称され、永く検地帳や多くの古文書に「武州三田領〇〇村」と記されていました。明治 22 年には辛垣城の城下付近の二俣尾村、沢井村上分、沢井村下分、御岳村、御岳山が合併し三田村が誕生しました。三田小学校、三田中学校、三田農協、三田保育園など三田という名称は近年まで地元に根付いていました（三田保育園は現在もあります）。

企画展「戦国時代の青梅」は、多くの展示資料により、三田氏と北条氏の関わりや三田氏滅亡までの過程について詳しく知ることができます。

3 月 23 日（日）まで開催されております。ぜひ御来館ください。

（文責 小島みどり）

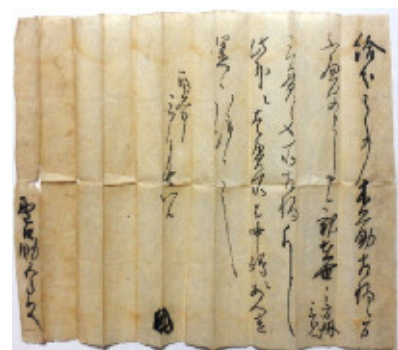
★主な展示品

上杉顕定書状（写） 永正元年（1504）3 月晦日 個人蔵（青梅市郷土博物館寄託）
三田氏宗判物 永正 10 年（1513）2 月 24 日 奥多摩町指定有形文化財 個人蔵
塩船観音寺仁王像修理木札 天文 2 年（1533）4 月 6 日 塩船観音寺所蔵
三田氏兜前立 室町時代 青梅市指定有形文化財 乗願寺所蔵
三田氏軍旗 室町時代 青梅市指定有形文化財 乗願寺所蔵
寺領安堵状 永禄 5 年（1562）6 月 20 日 青梅市指定有形文化財 金剛寺所蔵
三田氏位牌 寛永 4 年（1627）8 月 青梅市指定有形文化財 金剛寺所蔵
三田氏位牌 寛永 4 年（1627）8 月 青梅市指定有形文化財 天寧寺所蔵
清戸三番衆状 永禄 7 年（1564）5 月 23 日 青梅市指定有形文化財 個人蔵
北条氏照所領安堵状 天正 8 年（1580）12 月 28 日 青梅市指定有形文化財
鐘借用状 天正 16 年（1588）1 月 5 日 青梅市指定有形文化財 安楽寺所蔵
その他多数展示品あり



三田氏宗花押

現代のサインに近いものです。



三田氏宗判物（個人蔵）